

第3セクター事業報告

奥出雲交通 株式会社

乗客の動向は、一般乗客数が22471人、定期券乗客数は1010人。利用者数は前年に比べて減少、貸切事業は乗客8950人で、前年に比べてわずかに増えた。

売上高（運輸収入） 6747万円
（前年比 82.7%）
純利益 △536万円

大垣照子議員 運転手の人数が減っているが、ローテーションは組めているか。ベースアップを検討しないか。

まちづくり産業課長 非常に厳しい状況だが、乗務員の確保に取り組んで行きたい。
町長 ベースアップについては検討したい。

奥出雲酒造 株式会社

令和3年度は、売上高は昨年度より伸びたが、未だ新型コロナウイルスの影響があり低迷している。しかし回復の兆しはある。

売上高（販売収入） 1億4122万円
（前年比 前年比 104%）
純利益 △2458万円

内田裕紀議員 この2年、棚卸資産が大幅に減少している。経営はどういう状況か。また資金繰りは大丈夫か。

まちづくり産業課長 基本的には、在庫はできるだけ抱えないようにとの方針から、少なくするようにしたもの。資金繰りも管理をしっかり行う。

内田裕紀議員 きびしい経営状況の中、次期計画において、誤った棚卸資産が計上されている。経営計画自体が信頼できかねる。

まちづくり産業課長 経営計画を訂正し、改めて報告する。

川西明德議員 会社の経営理念に「企業活動を通じて地域社会に貢献する」とあるが、うわついた言葉にしか受け取れないが。

町長 しっかり中身を見て、精査していく。

田食道弘議員 報告書の代表者が前町長となっているが、私は法人の独立性を保つことから、町長以外の方が代表者をやるのがいいと思うが。

まちづくり産業課長 法人登記の関係から遅れているが、現町長の名前に変更する予定である。

内田精彦議員 監査役の職務は、会計監査と事業監査の両方か。他の監査報告者と監査項目など書き方違うがどうか。

副町長 事業監査と会計監査の両方である。

町長 できるだけ詳しく監査報告していただくのが良いと考える。書き方も含めて今後検討していく。

奥出雲電力 株式会社

購入電力価格の高騰により、大きな打撃を受けた。天然ガスの高騰、エネルギーの需給バランスの混乱から高騰は続いている。

売上高（売電料収入） 1億2021万円
（前年比 130.3%）
純利益 △672万円

大垣照子議員 前年と比べると、売掛金未収金が大きくなっているが、原因はなにか。

町民課長 9月末が決算日で、1ヶ月分が未収金となっている。価格が上がっているの、合わせてその分金額が大きくなっている。